

『存在と無』

- 存在と自由の探求
  - 人間の存在
    - 即自 — 物がそのままの状態
    - 対自 — 人間の意識
  - 人間は完全に自由



    - 選択する自由を持つ
    - その選択に責任を負う
  - 「実存は本質に先立つ」
    - あらかじめ決まった運命はない
    - 自由な選択と行動で自分を作る
- 他者との関係性と自己
  - 他者の存在
    - 自分自身を客観的に見れる
    - ときに自由を脅かすことも
    - 「他者による客体化」「対他存在」



  - 矛盾した感情
    - 他者を必要しつつ、自由でいたい
    - 人間関係の難しさや葛藤を生み出す
- 実存主義と人間の責任
  - 実存主義
    - 一方で常に選択を迫られる
    - 人間の自由と責任が大切
    - 「人間は自由の刑に処せられている」



  - 自由と責任
    - 自分の人生を作り上げる力を与えてくれる
    - 人生の意味は自分で見つけ出すもの